Tokyo Biblical Seminary
東京聖書学校
学院だより
2011年 春号（2月20日/3月1日発行）
発行所／〒189-8512 東京都東村山市回田町1-30-1
［東京聖書学院］042-391-3076 fax.042-397-7558 郵便振替00190-0-78949
［聖書学院後援会］042-394-8791 郵便振替00170-8-136685

近づき、語りかける方

東京聖書学院教授
西岡 義行

「クリスマスには何をするのですか？」と聞かれることがある。私は「教会学校のクリスマス会に出ます」と答えるが、「それは何ですか？」と聞かれることがある。「イエス様の誕生をお祝いします」と答えるが、「それは何ですか？」と聞かれることがある。「神様が人となってこの世に来てくださったことを感謝します」と答えるが、「それは何ですか？」と聞かれることがある。

◇近づくため

それぞれの問いに、あの手この手の説明をするのだが、どうも通じない。「神様が人となって」という言葉を聞いても、「神様が人となってこの世に来てくださった」という言葉を聞いても、「神様」という言葉が出てくるだけで、聞く人は「自分とは関係ない」と感じてしまうのだろう。

「神様」という言葉は、聖書の中では、人間から遠く離れた存在ではなく、人間に近づき、語りかける方として描かれている。

旧約聖書の中で、神様は、ご自分の民イスラエルに近づき、語りかけ、交わりを持とうとされる。しかし、民はそれに応えようとしない。

新約聖書の中で、神様は、ご自分の民イスラエルに近づき、語りかけ、交わりを持とうとされる。しかし、民はそれに応えようとしない。